

令和4年度 第1回「地域フォーラム」

持続可能な社会の実現を目指して
吉野町のまちづくり

令和4年6月4日

下市観光文化センター

吉野町長 中井 章太

吉野町のまちづくり について目次構成

- 1 吉野町の現状
- 2 吉野町の課題
- 3 解決に向けた取り組み
- 4 まとめ

吉野町の現状【資源】



吉野山の桜



吉野運動公園（津風呂湖）



金峯山寺蔵王堂



宮滝遺跡



フォレスターアカデミー



原木市場



ゲストハウス三奇楼

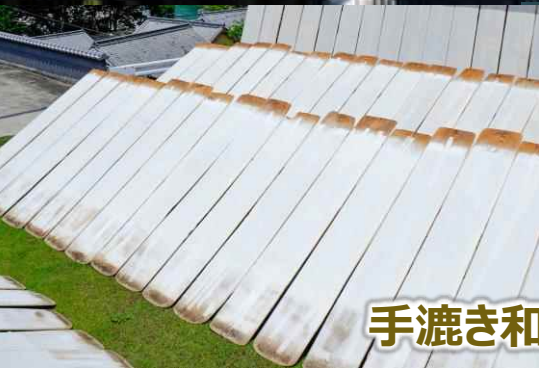


吉野杉の家

吉野町には歴史や自然、産業等における豊かな地域資源がある

吉野町の現状【資源】

美しい景観と地場産業の調和 伝統の技が生きる「国栖の里」



手漉き和紙産業



割り箸産業



国栖地域には、天武天皇が伝えたと言われる手漉き和紙産業が現在も継承される。木材産業の発展とともに製材した木材の端材を活用して生産する割り箸産業も盛んに行われている。

吉野町の現状【資源】

造林発祥の地 日本三大人工美林「吉野杉」



原木市場



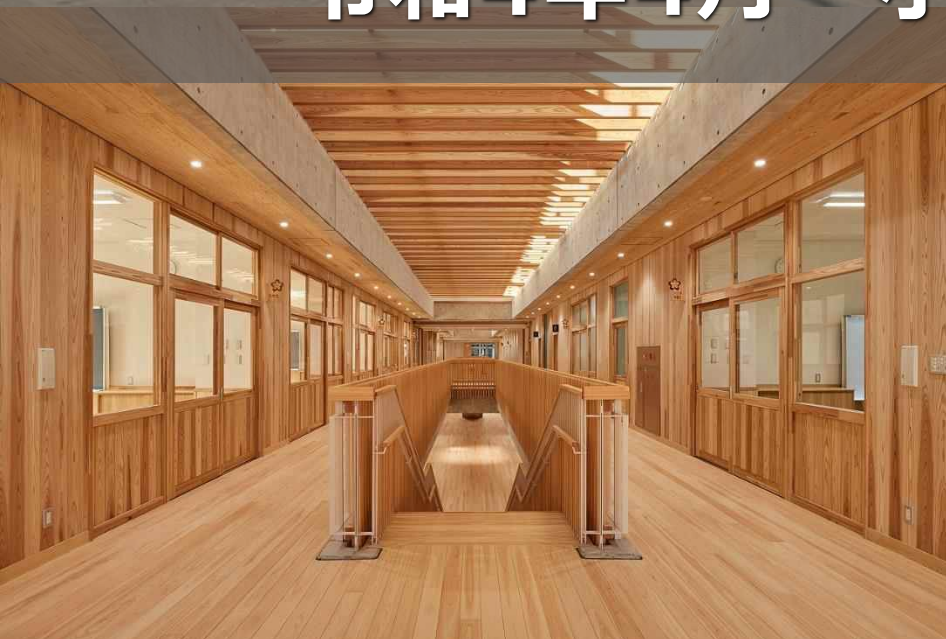
貯木場（製材所群）

日本三大人工美林であり、日本の造林発祥の地である吉野は、密植、多間伐、長伐期施業により、非常に丈夫で色、艶、香りの良い良質な木材が生産されている。

吉野町の現状【資源】



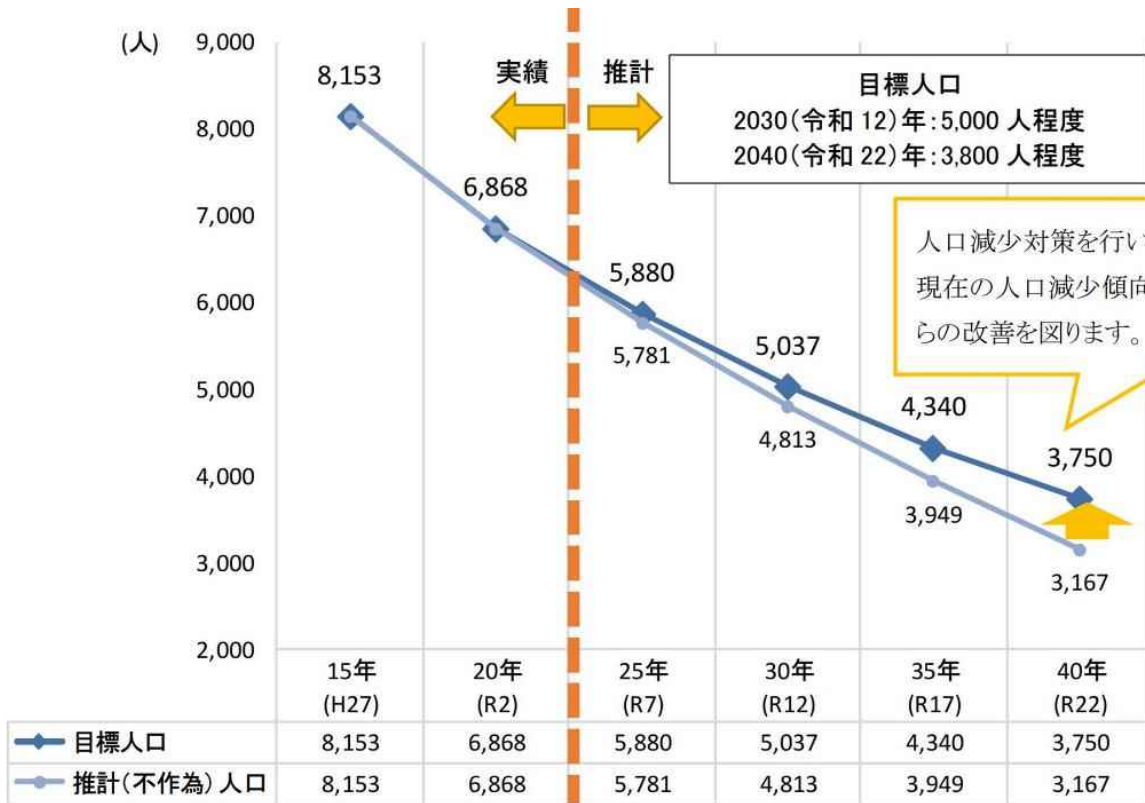
令和4年4月 小中一貫教育校が開校



吉野町の課題

- 1 人口減少・若手人材不足
- 2 企業数減少
- 3 空き家の増加

吉野町の課題①-1 【人口減少】



● 人口6,388人 (R4.4末)

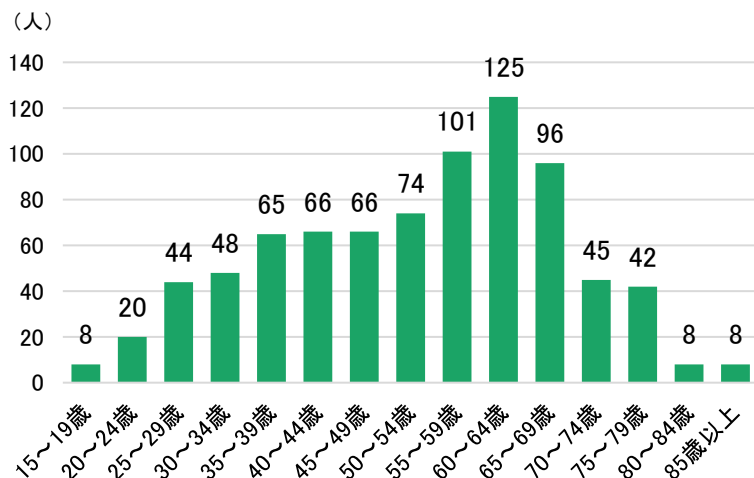
【今後】

人口の減少、
老年人口の割合増加が
見込まれる

	15年 (H27)	20年 (R2)	25年 (R7)	30年 (R12)	35年 (R17)	40年 (R22)
推計(不作為)人口						
老年人口割合	45.8%	50.2%	55.2%	59.6%	62.9%	66.2%
生産年齢人口割合	47.8%	43.9%	39.9%	36.3%	33.6%	30.7%
年少人口割合	6.4%	6.0%	4.9%	4.1%	3.5%	3.1%
目標人口						
老年人口割合	45.8%	50.2%	54.2%	57.0%	57.7%	57.4%
生産年齢人口割合	47.8%	43.9%	40.2%	37.3%	35.5%	34.6%
年少人口割合	6.4%	6.0%	5.5%	5.8%	6.8%	8.1%

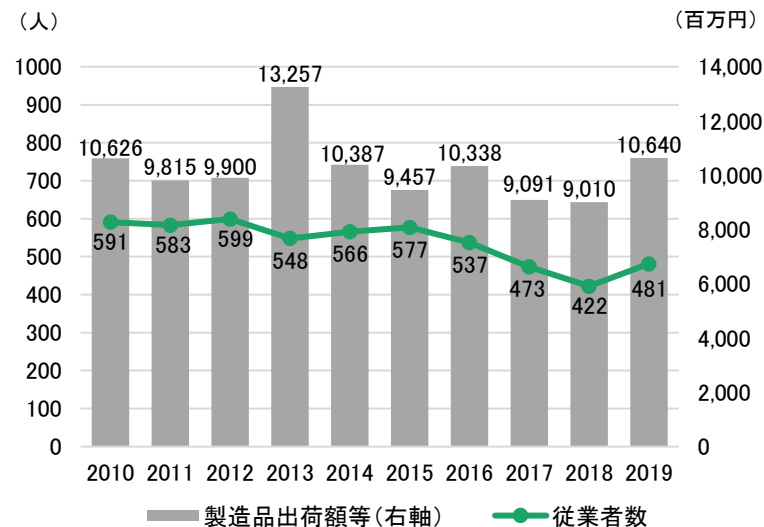
吉野町の課題①-2【若手人材不足】

年齢階級別就業者数



- 55～69歳の就業者が多く、35歳未満が少ない。
- 今後、製造業のさらなる高齢化が懸念される。

従業者数及び製造品出荷額の推移



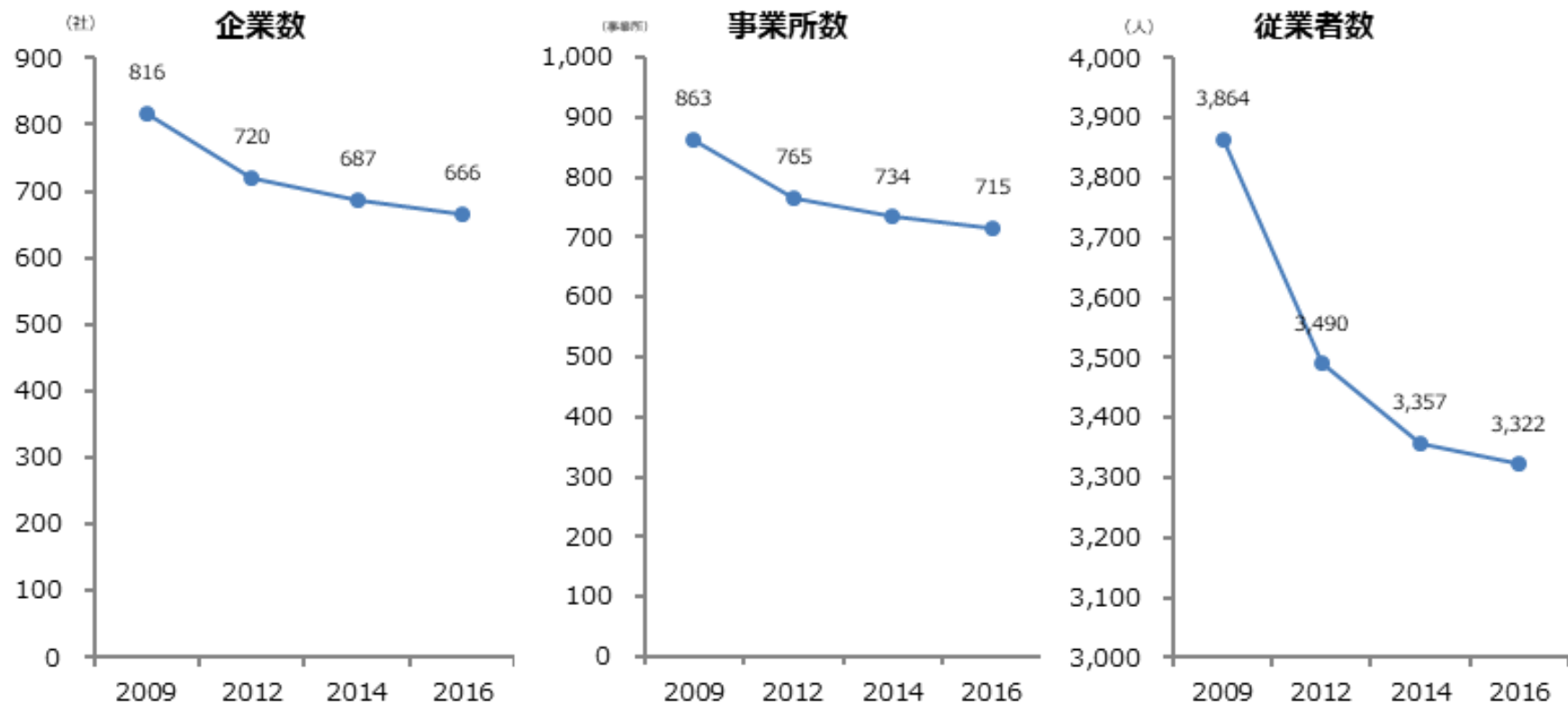
- 従業員数及び製造品出荷額は減少傾向にあったものの、2019年には増加に転じている。
- 今後、高齢化もあり、担い手不足は課題である。

今後を見据えると若手人材が不足し事業承継は困難となる

吉野町の課題②【企業数減少】

人口減少や高齢化による担い手不足等により、企業数も減少している

町全体の人口減少や高齢化に伴い、担い手や後継者不足等により、企業数も減少傾向にある。

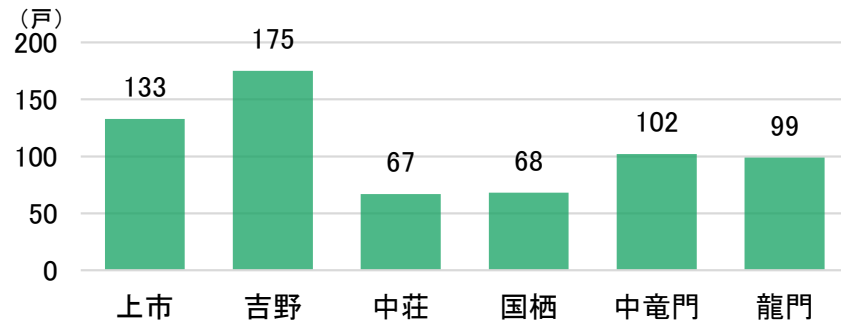


【出典】総務省「経済センサス-基礎調査」、総務省・経済産業省「経済センサス-活動調査」再編加工

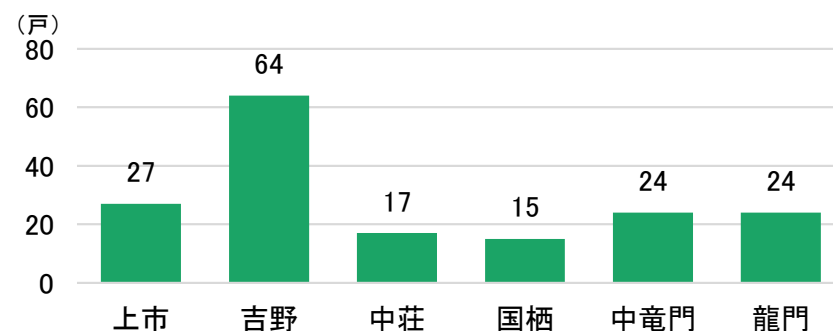
【注記】企業数については、会社数と個人事業所を合算した数値。従業者数は事業所単位の数値。

吉野町の課題③【空き家の増加】

各地区の空き家数



有効活用できる空き家数



空き家実態調査では、健全な状態で、活用が可能と考えられる空き家が一定数確認できており、利活用が必要である。

人口減少や世帯数の減少に伴い、空き家が増加傾向にある



優良な吉野材の空き家

- 吉野町では、良質な吉野材をふだんに使った住宅が空き家となっている。
- 古民家はもちろん、畑付き、山林付きの空き家も存在している。

解決しなければならない 吉野町の課題

- ① 人口減少・若手人材不足
- ② 企業数減少
- ③ 空き家の増加

吉野町では今後も人口減少・老年人口の増加が見込まれ、製造業をはじめとする担い手不足が課題である。
更に、吉野町内の企業数減少や人口減少に伴う空き家の増加が今後の重点課題と言える。

課題解決における
キーワード

- ① 森林環境の適正化
- ② 民間活力の導入

課題解決におけるキーワード①

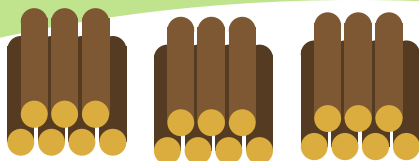
森林環境の適正化

課題解決に向けたキーワード① 【森林環境の適正化】

森林保全の流れ

上手に使う

住宅や公共建築物
家具など木製品に活用



植える 植林



木を育て山をまもることで
健全な山や水の循環が実現

収穫



⇒ O₂供給
⇐ Co₂吸収

育てる

間伐 (かんばつ)

山を守る「人」の育成が不可欠

課題解決に向けたキーワード①【森林環境の適正化】



令和3年4月 奈良県フォレスターアカデミー開校

奈良県がスイスのフォレスター制度をモデルとした新たな森林環境管理制度を導入し、その担い手となる人材を養成する。

毎年20名程度が入学予定。卒業後は県内で森林関係の仕事に従事する予定。



課題解決に向けたキーワード① 【森林環境の適正化】

吉野町の取り組み



奈良県フォレスターアカデミー学生向け支援の充実

吉野町では、アカデミーに通う学生に吉野町を中心に活動していただき、卒業後も将来にわたって住み続けていただくことが、吉野林業を今後500年続けていくことに繋がると考え、賃貸住宅への改修事業補助金制度を実施している。また学生や卒業生を対象に、住宅の家賃補助や、住宅購入補助等の支援制度も検討中。

課題解決におけるキーワード②

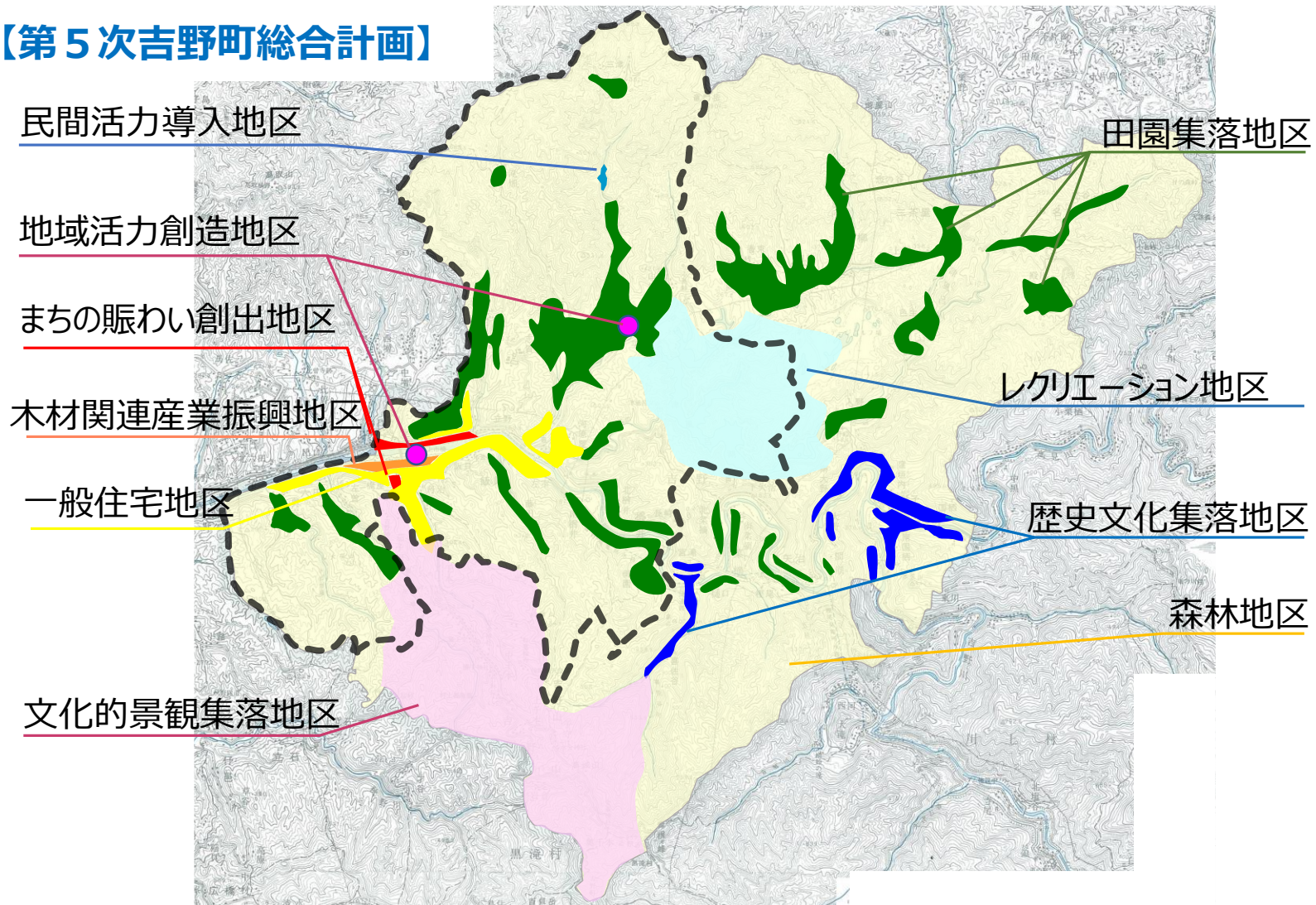
民間活力の導入

課題解決に向けたキーワード②【民間活力の導入】

吉野町のゾーニングイメージ

エリアごとに方向性を定め、幅広い事業や取組を展開

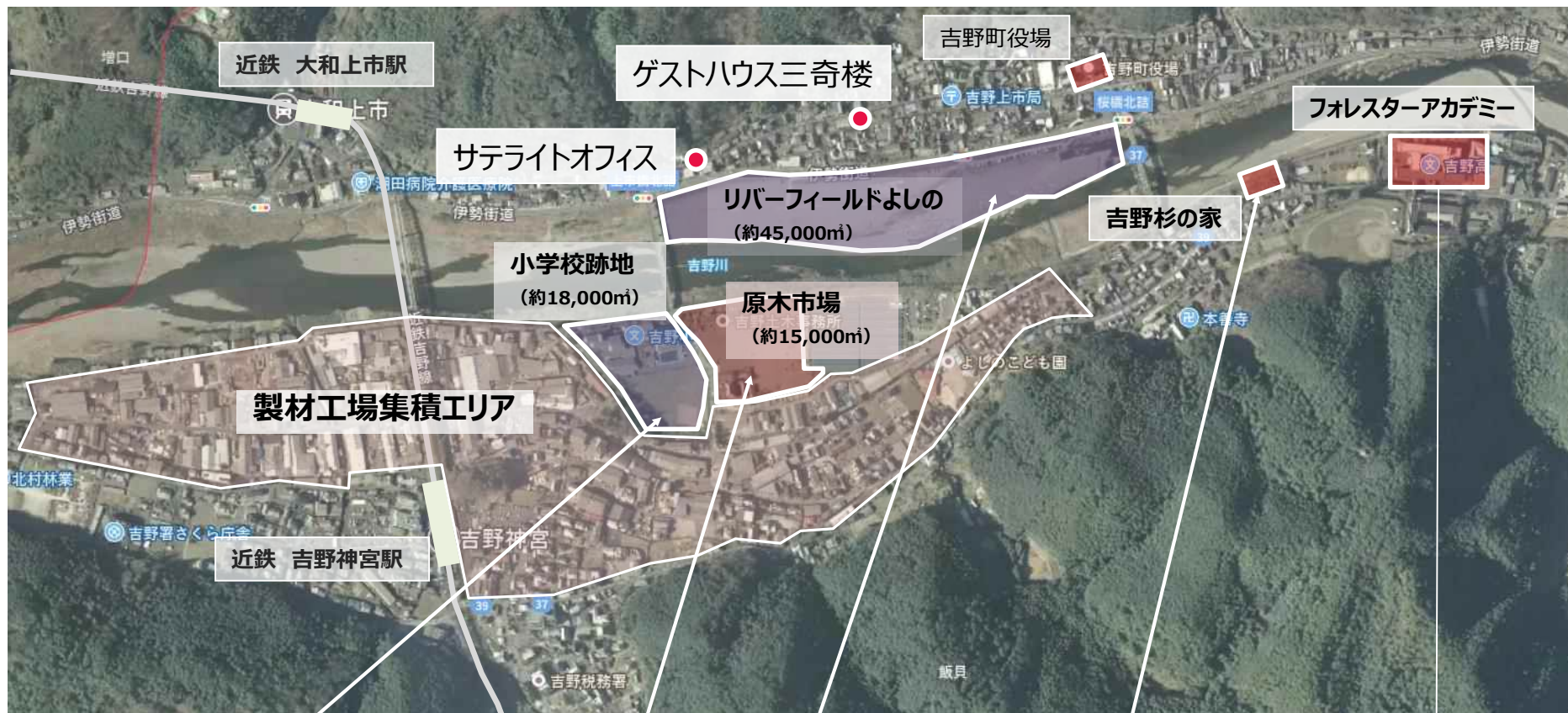
【第5次吉野町総合計画】



課題解決に向けたキーワード②【民間活力の導入】

立地と周辺施設

周辺には、活用できる公共空間や産業集積地、教育機能が充実



課題解決に向けたキーワード②【民間活力の導入】

木材関連産業振興地区周辺のまちづくり

木材の歴史がある土地＋人によるまちづくり・ネットワークづくりから現代の木材産業振興を目指す。

- 住まい、道路などの生活環境
- 交流の場（飲み屋など）
- 地域の方との交流
- 騒音でも活動可能なフィールド提供
- モビリティの提供

学生たちが
学びやすい、
住みやすい
環境に。

- 学生や企業が携わった吉野材の使われ方などを体感できるコワーキングスペースの整備。
- 外部からの顧客が体験できるツアーの実施
- 山の地形などを知り尽くすプロ職員の方との連携

将来的な
関係人口増加・定住へ

企業と連携した
地域経済の循環

産学官による
地方創生

過疎地の
地域活性化

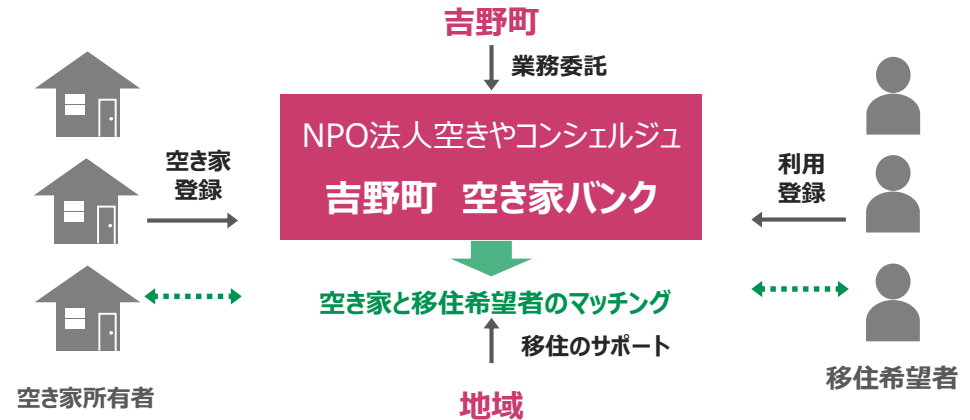
事業継承の
担い手

課題解決に向けたキーワード② 【民間活力の導入】

吉野町の取り組み

空き家バンク制度

地域を知り尽くしたコンシェルジュが物件紹介だけではなく、吉野町移住後の地域との交流も支援



起業支援補助金（令和4年度）

町内で起業する際に必要な施設・設備の整備、その他経費の一部を助成

補助金：最大50万円（補助率1/3）

対象者	<ul style="list-style-type: none">・起業の活動拠点が本町域内にあること・事業完了時に町内に住所を有する者または、町内に本店を有する法人
補助対象経費	<ul style="list-style-type: none">・商品の試作又は実験販売等に要する経費・施設、設備の整備に要する経費（備品については、1個5万円以上のものが購入対象）・市場調査、研修、視察等事前調査に直接要する経費・事業経営計画書等の作成に要する経費など

課題解決に向けたキーワード②【民間活力の導入】



町内外の人が空き家を購入 ゲストハウスの運営

民間活力の中には、吉野町が好きな都市部の人が空き家を購入してゲストハウスを運営している。
地域住民との交流と活性化が期待される。



空家等を活用した移住・テレワーク推進

移住体験スペース
ゲストハウス三奇楼の誕生



サテライトオフィスの誘致



10年以上空家になっていた物件を地元工務店が購入し、ゲストハウスに改修。

2015年にゲストハウスとして本格オープン。年間約800名以上が宿泊される。

令和4年5月19日開催
場を生むデザイン賞 第19回奈良県景観デザイン賞
優秀賞 受賞

サテライトオフィス・ coworkingスペースの開設支援



吉野町の取り組み

産業振興、移住定住の促進及び雇用の拡大に資する企業への支援金を準備

支援進出金：上限100万円

支援の対象者

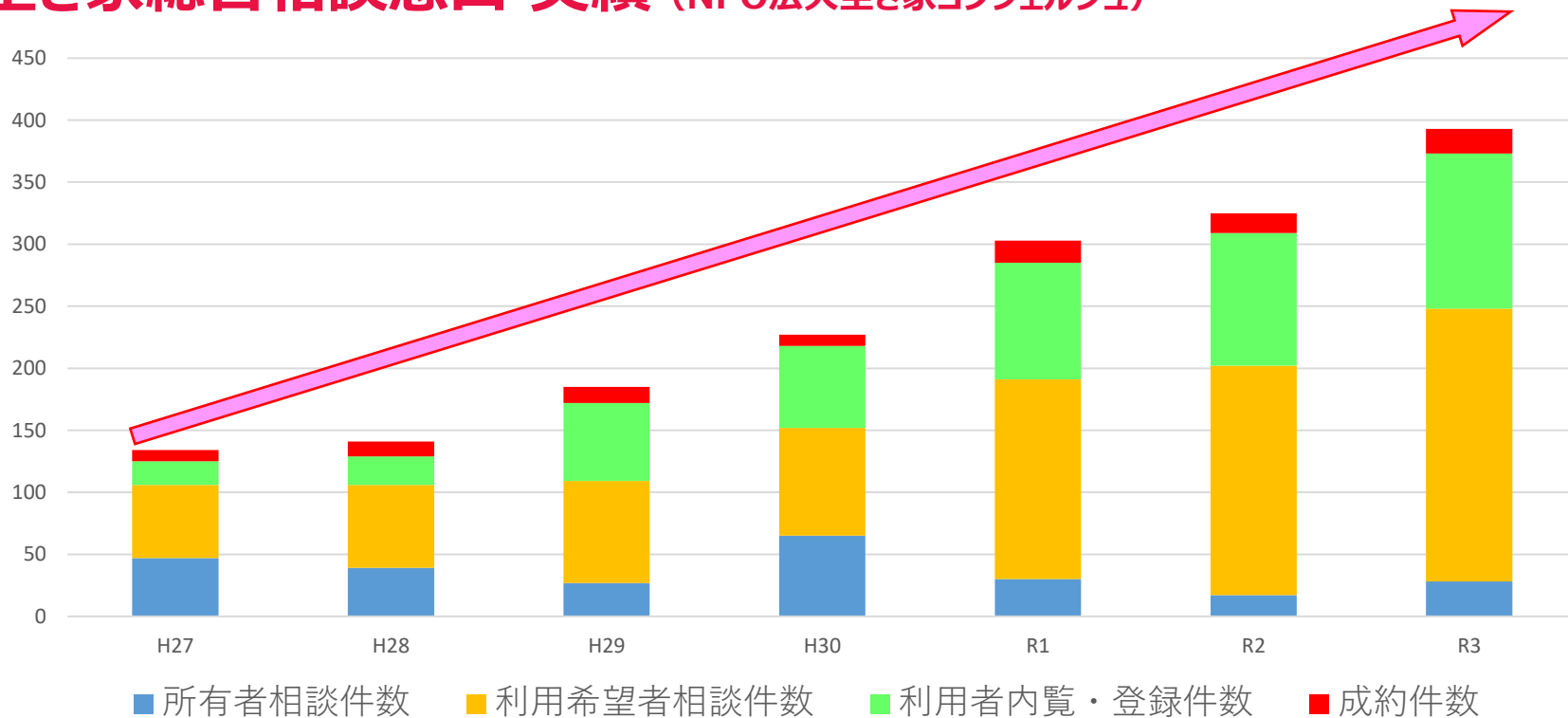
- ・賃貸借契約等の締結により、**サテライトオフィス等を利用**していること。
- ・サテライトオフィス等の利用を除き、**本町に事務所又は事業所を有していないこと**。
- ・サテライトオフィス等の利用を除き、**奈良県内に主たる事務所又は事業所を有していないこと**。

交付の条件

- ・町内の事業拠点を確認するための報告及び実地調査に応じること
- ・地域活動への参画、地域住民との交流等、関係人口の増加に資する取組に努めること
- ・最終確認日を超えて、町内を事業拠点にして継続して事業を行うこと

課題解決に向けたキーワード② 【民間活力の導入】

空き家総合相談窓口 実績 (NPO法人空き家コンシェルジュ)



◆令和2年度奥大和地域以外からの移住者数

Iターン（移住）：13世帯22名 / Uターン（帰郷）：23世帯30名

◆空き家流動化補助金（空き家片付け 10万円上限）

◆空き家改修補助金（50万円上限 1/2補助）

課題解決に向けたキーワード② 【民間活力の導入】

町内外の人が空き家を購入
ゲストハウスの運営



空家等を活用した
移住・テレワーク推進



サテライトオフィス・
コワーキングスペースの開設支援



多様な関係人口を創出

課題解決に向けたキーワード②【民間活力の導入】

吉野運動公園とカヌー艇庫



グランテージゴルフ倶楽部



宮滝野外学校



吉野グランテージゴルフ倶楽部や宮滝野外学校においては既に民間企業が参入し、運営を行っている。

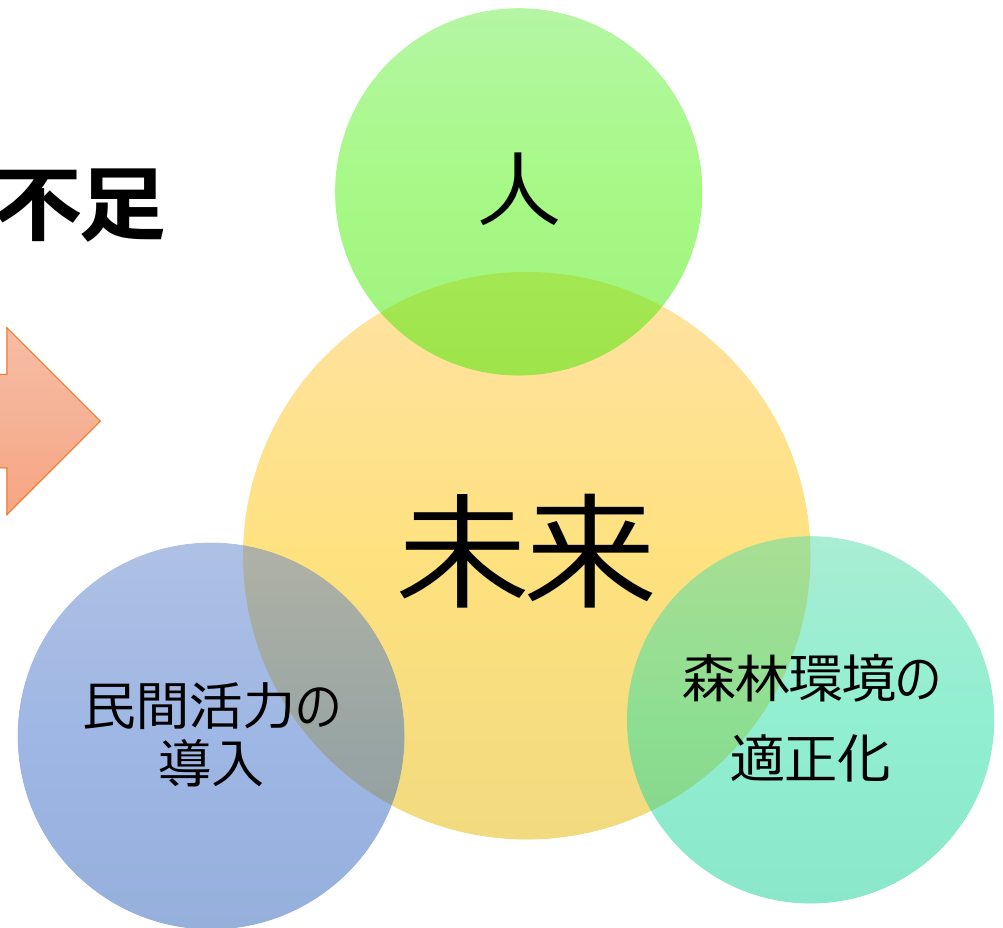
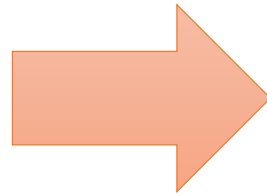
**今後、津風呂湖周辺による
研修施設や・ワーケーション施設の充実
スポーツ振興をもって企業誘致を目指す**

吉野町のまちづくりについて

まとめ

重点キーワードを活かし課題をチャンスに

- 1 人口減少・若手人材不足
- 2 企業数減少
- 3 空き家の増加





**「ひと」がつながり「ひと」が輝き「ひと」が潤う
感動生まれる 吉野町へ**